

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月29日

事業所名 放課後等デイサービスくくろームとうじん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0%	100%	テーブルやいすの配置等ご利用のお子様の年齢や活動なようによって変更しています。	利用児童の学年が上がるにつれて、居住スペースが狭く密になりやすいので、戸外活動を取り入れたり公共施設等を利用していきます。
	2	職員の配置数は適切である	0%	100%		人員配置基準の職員数は確保していますが、利用児童に合わせた丁寧な支援ができないことがありました。今後は子どもの発達状況に合わせた余裕のある職員配置を行っていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	67%	33%		既設のスロープを安全に使用するために、設置場所等を検討し職員配置等も合わせて改善していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	67%	33%	定期的に支援会議を実施し、スタッフ全員で話し、意見を出し合っています。児童の支援以外に支援中にスムーズに職員同士が話し合うことでコミュニケーションや情報共有ができています。	職員全員が参加する日程を確保するのが難しいので、会議日程を見直して、できるだけ全職員が参加できるようにしていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者等向けの評価表は必ず実施し、保護者様の様々な意見や要望を把握するようにしています。また、すぐに対応できるご要望については本部と相談し改善できるようにしています。	今後とも意見等にはできるだけ具体的な方法で対応し、保護者様の様々なご意見を集約することで改善していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	67%	33%	自己評価を行い、結果をホームページで公開しています。公表については口頭で直接告知するなどして見ていただくようにしています。	公開についての告知が不十分なことがあったので、さらにわかりやすいようにお知らせしていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	67%	他の事業所等との意見交換等は行っており、業務改善等の参考となっておりますが、第三者による正式な評価はできていません。	今後は、定期的に評価していただける機会を作っていくよう努めます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	年間を通して本部と連携し、研修委員が中心となって研修を開催しています。研修内容は基本的なテーマを設定して年間計画を立てて実施しています。できるだけ全職員に参加を促し、研修後にはレポートを提出しています。	業務中の職員は参加できないことがありましたので、研修の実施日を改善していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	職員や支援スタッフの意見を参考にお子様のアセスメントを丁寧に行い、保護者と情報を共有できるように、日々の状況を記録しています。	より細かな状況把握のために日々の活動記録以外に、活動の振り返りを他のスタッフと共有していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	33%	67%		定期的に標準化されたアセスメントツールに沿って子どもの最新の状況を把握し、支援計画や具体的な課題の作成に生かしていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	67%	33%	活動プログラムは、基本的に児童発達支援管理責任者が専門的な見地から立案しています。支援会議等で他職員の意見を聞いて参考にするなどして、見方が偏らないように気を付けています。	今後は、全職員にも積極的に立案に参加できるようにしていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	一人ひとりの発達状況に合わせて活動内容を考えていますが、お子様によってはスムーズに展開できない様子も見られました。	今後、さらに細やかな配慮をし、改善していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	下校後のルーティンワークを設定したり、休日や長期休暇での過ごし方などに季節の行事を入れ込むなど、お子様が楽しめるような活動を提供しています。	今後でもできるだけ児童の状態に沿った活動内容や課題を設定して、丁寧な支援を実施して行きます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	お子様の状態に合わせて、戸外活動やイベントを実施し、課題へ意欲をもって取り組めるようにしています。	今後とも変化のある活動内容を展開していきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	利用児童の最新の状態を職員間で共有し、個別に丁寧な支援ができるように支援員が意識をもって対応できるようにしています。	今後も丁寧な支援を行っていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	67%	33%	個人記録に細かく記載しています。支援方法は利用児童のその日の状況により変わることがあるので、その都度確認を行っています。	勤務がシフト制で職員全員で振り返りを行う時間がない。職員が記録をいつでも閲覧できるようにして、各自の振り返りを行っていきよう努めます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	記録の確認や活動内容の検討なども合わせて行うことで、次回の支援につなげています。	今後も記録をとることで発達支援の向上を進めていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	規定にとらわれず、定期的なモニタリング以外にも必要に応じてサービス計画の見直しを行っています。	今後も引き続き実施していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	33%	67%		今後は様々な活動を工夫して支援していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者が出席し専門的な見地で参画しています。	今後も継続し、より専門性の高い支援を行っていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	67%	33%		今年度は感染に気を付けて、情報交換を行っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	100%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	67%	33%	同法人の運営する生活介護事業所では、放課後等デイサービス関わったスタッフが支援に加わるなどして情報提供を行っています。	今後も継続し、他事業所への情報提供も丁寧に行っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%		今後はできるだけ参加できるように研修実施計画の改善を進め、外部研修についても伝達報告等をしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		今後は感染防止に気を付けて実施していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		今後は積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・連絡帳でのやりとりや送迎時に保護者様との会話の時間をできるかぎり取るようにしています。 ・連絡帳や送迎時にお伝えしています。	今後も丁寧な情報共有を行っていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	0%	100%		ペアレントトレーニングについては、専門的な理解やアプローチが必要なので、まずは研修を受け専門的な知識を身に付けていきたいと思えます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時や変更時には丁寧に説明をしています。	質問や規定などの疑問点にもこたえられるように今後も実施していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	67%	33%	連絡帳や送迎時に対面で相談に応じたり、具体的な助言を行うこともありました。	保護者様によってはコミュニケーションが十分に取れないケースがあるので、事業書から積極的に声掛け等をして丁寧な対応をしていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	33%	67%		今後へ感染防止に気を付けて保護者様の連携を支援していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	日ごろから丁寧に対応しています。細やかな対応によって安心して利用できるように心がけています。	今後も苦情等が出ないように対応していきます。また細かな苦情やご意見も見逃さず、丁寧で迅速な対応を行っていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	定期的な会報誌の発行を行い、様々な情報や福祉の情勢などをお知らせしています。また、ブログやTwitterで活動の様子をお伝えしています。	今後も、より分かりやすい身近な内容をご利用者全員にお伝えできるようにしていきます。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報については決して外部に漏れることがないように細心の注意を払っています。	今後もさらに十分に注意していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	支援内容や課題にコミュニケーションの手段や具体的な方法を考慮し、お子様一人ひとりに合った意思疎通ができるようにしています。	今後も継続していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		感染防止に気を付けて行事を計画し、今後は開かれた事業所として地域にアピールしていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	・マニュアルを作成し、研修を行うなどして、スタッフの対応・理解を深めている。	今後は保護者様にも十分なマニュアルの周知ができるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	地震や火災等を想定して、年2回行っている。	今後も状況を確認しながら、様々な場面を想定しての訓練を実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	研修は定期的に行い、職員の意識向上に努めています。	今後も継続していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	33%	67%		危険回避などの状況を想定して理解しやすいように具体的な内容を記載し、確認しながら了解を得ていきます。また、毎年研修を実施します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・医師の指示書ではありませんが保護者様に聞き取りをし、把握するよう徹底しています。 ・児童発達支援管理責任者がアレルギーについての研修を受講しました。	今後も丁寧な対応を行っていきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	小さなことでも、ヒヤリハット事例については報告書を作成し、常時職員が確認できるようにしています。	今後も継続して実施し、丁寧な支援を行っていきます。

※無回答は「いいえ」として、カウントしております